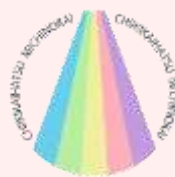


第 89 号 地域開発みちの会



みちの会 だより



<http://www.aichi.michinokai.cc> 発行責任者 山崎 宏子

平成 28 年度年間活動テーマ
「男女共同参画～今そして未来へ～Ⅱ」

平成 29 年度 総会・第 1 回全体会のお知らせ

日 時：平成 29 年 4 月 15 日（土） 総 会 10：00～
第 1 回全体会 13：00～
場 所：ウィルあいち セミナールーム 6（2F）

平成 28 年度 事業報告・決算報告
平成 29 年度 新会員・新運営委員紹介
平成 29 年度 事業計画（案）・予算（案）

■第 4 回全体会 日時：平成 28 年 1 月 31 日（火） 場所：東海市市民活動センター（ソラト）

【議題】

1. フォーラムについて
2. 30 周年を祝う会について
3. その他 30 年度以降の会長について

【報告・その他】

- ・議員と語る会反省（アンケート結果より）
- ・ウィルあいちフェスタ報告（参加者 49 名）
- ・29 年度運営委員について
- ・今年度セミナー受講生について



フォーラムについては、当日の役割分担、みちの会紹介パ
ワーポイントの意見交換を行いました。

また、議員と語る会は学生の参加が好評でしたが、アンケ
ートによれば各テーブルに入れるよう参加人数が多いとよ
かったという意見や、発表資料の有無についての意見があ
り、今後の開催に検討すべき課題が挙がりました。



30周年記念事業
第29回地域開発みちの会フォーラム

DV の理解を深める
～これ以上いのちを奪われないために～



平成 29 年 2 月 5 日、東浦町文化センター ホールにてお茶の水女子大学名誉教授の戒能民江氏をお招きし、フォーラムを開催しました。講演に先立ち、山崎会長、東浦町教育委員会教育長のあいさつ、みちの会紹介、みちの会ロゴ入賞者表彰を行いました。



参加者：130 名（一般：86 名 会員：44 名）
来賓：東浦町教育委員会教育長 恒川渉氏
公益財団法人 あいち男女共同参画財団
専務理事兼事務局長 小田貴之氏
みちの会ロゴ作成表彰者：松崎慧さん



<講演概要>

DV 法制定から 15 年、相談件数は増え続けている。DV が認知されてきているとも取れるが、夫婦ゲンカの延長ではなく『命の問題』だという認識にはまだ遠い。

DV とは『親密な関係における暴力による相手の支配・コントロール』をいう。プライバシーの領域＝閉鎖性があるからこそ暴力が振るわれやすいともいえる。そして暴力により相手を意のままにできることで本来対等な関係のはずが、支配する・されるの関係になる。暴力を振るわれたら逃げればよいというが、不安と恐怖で「自分で考える気力すらなくなって」しまうのが、DV である。



法律が改正され、暴力そのものには警察の介入も可能になった。しかし加害者から逃れるだけでは問題は解決しない。被害者は心身の健康、経済面、子どもへの影響など複合的な困難に直面する。生活を再建するためのしくみ、周囲の理解が必要である。また、加害者への再教育、幼少期から教育を行うなど、暴力を生じさせない対策も必要である。暴力を容認しない社会のためにも、これらの問題から目をそらさず啓発していくことが地域で市民ができることである。

<アンケートより>

- ◇ DV の大変さ・複雑さが分かった。いろいろと考えさせられた。
- ◇ 行政を担当しているものですが、救うための取り組みの遅れを感じている。啓発の必要性を感じた。
- ◇ DV を行う人（加害者）はどうしたら減るのだろうかと考えてしまった。再教育という話もあるが DV を起こさないような環境づくりの大切さはまだまだこれからの課題であると思う。人権教育。男女平等の教育の重要性を改めて感じた。



《お知らせ》

日本女性学会 全国大会にて戒能民江さんが全体シンポジウム「暴力・家族をめぐる政策の展開と社会の変容—ジェンダーの視点から」のコーディネータを務められます。

日時：6月17日（土）・18日（日） 場所：中京大学名古屋キャンパス

地域開発みちの会 30 周年を祝う会

日時：平成 29 年 2 月 17 日（金）

場所：ホテルグランコート名古屋 スカイレストラン スターゲイト

今年度は恒例の新年会を「30 周年を祝う会」として開催しました。

見晴らしの良いレストランで、おしゃべりにも花が咲き、楽しいひとときとなりました。



山崎会長より今年度の活動協力のお礼と、30 周年記念誌の表紙デザイン案の紹介。
当日集まった方にデザイン投票してもらいました。
どんなデザインになったかお楽しみに！

席は山崎会長手作りのかわいくじ引きで決定。
お互いの近況報告や自己紹介など、交流を深めました。



メイン料理は肉または魚からチョイス。
今回は「肉食」女子が多数でした。



<<<活動報告 (Aブロック) >>>

「誰もが輝く社会に向けて～人生スゴロクを作ろう～」



日時：平成 29 年 3 月 4 日（土）13：00～16：00 会場：緑区役所講堂

参加者数：28 名（男性 2 名 女性 26 名）

スタッフ：みどり区民プラザサポータークラブ 6 名、みちの会参加協力 6 名

名古屋市長区男女平等参画事業受託事業として、愛知淑徳大学講師中島美幸氏の講演と人生スゴロク作りワークショップを開催しました。

第 1 部 講演「女と男の働き方・暮らし方—これまで、これから」

日本人の平均寿命は上昇中で、平成 72 年には男 86 歳、女 99 歳と予想されている。このような超高齢化社会を生きていくため労働力不足に対応するための女性活躍は不可欠である。

また今後「人生 100 年時代、マルチステージ(多くの移行と変化を経験)人生」では定年退職がなくなり、働き方も変わる。変化に適応するための自己投資、スキルセットなどの無形資産が重要な役割を果たすであろうと予想されている。

第 2 部 人生スゴロク作りワークショップ〈参加者感想〉

- ・スゴロクに各々の人生観が反映されていると感じた。
- ・自分の人生の見直しをする参考になった。
- ・みんなで協同して楽しいゲームができた。
- ・幸・不幸と人生は楽しい。自分の人生の縮図。
- ・楽しく、色々な人生を想像することができ、勉強になった



<<<活動報告 (プロジェクト事業) >>>

学習会主催 「改めて、「ジェンダー」について学ぶ」

日時：3 月 14 日（火）10：00～11：45 会場：東海市市民活動センター（ソラト）

講師：中島美幸氏（愛知淑徳大学講師） 参加者：9 名

「ジェンダーに敏感な視点で男女共同参画を進める」活動をしてきたつもりだったが、学校現場や親たちが面倒だからという理由で男女別名簿が復活した地域がある。3 年継続してみちの会で取り組んだ男女混合名簿の意義が会員の間で継承されていないのではないかと。ジェンダーについて改めて学んだ。ジェンダーの内面化に気づき、思い込みから自由になることが大切である。

- 今回の講座も先生の痛快なトークに引き込まれ、あっという間に終了となってしまった。今回、気付かされたことの 1 つに教科書・教材における男女の偏りが未だにあるということ。刷り込みを危惧せざるをえない。家庭だけでなく人間形成の時期である学校教育現場においてこそ正しいジェンダー教育が今、必要になってきていると思う。誤った“男らしさ”の認識がストーカー行為や DV 加害者を作っているとしたら早急の対策として考えても良い。（鈴木恵子）
- ジェンダーについて、改めて学び、私自身まだまだ気づいていない刷り込みの多さに驚かされた。「ジェンダーって何？」について時々勉強していきたいと思った。（小林治代）



ご意見、問い合わせはメールにてお寄せください。（89号編集:位田）

地域開発みちの会 <http://aichi.michinokai.cc/toiawase.html>